

劇評なるものをしたためることとなった。商売柄(?)、書評は経験があるが、劇評ははじめてである。今回の評価の対象は、第6回はちのへ演劇祭(3月17日14時30分開始の回)である。

まず、観劇環境についてである。劇場内に数々のポスターが張り巡らされていた。ユニークである。舞台も「劇間劇」を含めると4カ所となるものも初体験。「劇間劇」のひとつ、中島みゆきの「ファイト!」を舞踏で表現した「可愛い子には旅をさせよ」は秀逸であった。「ストレス」はストレスフルな現代社会をコミカルに描いていた。

【コンプレックス】

この演目は、イベント会社の一室で繰り広げられる出来事とその社員が集うスナックを舞台に、「誰もが抱える何らかのコンプレックスをコミカルに」(パンフレットによる)描いた「普通の芝居」(同)である。この場合のコンプレックスは、「学歴格差」であると推測される。この国では青年期の(大学まで含めると)16年を過ごす「学

校」というシステムの中で偏差値という数値で序列が形成され、それが就職後も社内でも引き継がれていく。そこでの「やるせなさ」を「普通に」描くという「想い」を読み取ることができた。

【コレクション】

この演目は、慰安旅行で訪れた南の島で聞いたお宝の噂をめぐって、1人の上司と2人の部下、そしてお宝の持ち主である「王」によって展開される「アドベンチャーもの」である。この芝居に込められた「想い」は、何であったのだろうか、観劇後考え込んでしまった。絞り出した結果、浮かび上がったキーワードは「欲」であった。日常ありがちな、「もし宝くじで10億円当たったらどうしよう」と妄想する自分が舞台上にいた。

【面接室】

2人の八戸学院大学演劇部員が演じた舞台である。手前みそで申し訳ないが、今回の観劇でいちばん感激した舞台であった。

ある会社の面接室で話が展開する。津軽出身の面接官と男子学生によって繰り広げ

られるテンポの良いやり取りは秀逸であった。特に、面接官役の長谷川華さんの成長の可能性を見出すことができた。

話の展開も起承転結が明瞭であり、「落とし」(当該学生が、親会社に内定していることが判明)も絶妙である。

もうひとつ、「方言芝居」の可能性と発展性を感じることができたのは、評者にとって収穫であった。津軽弁や南部弁などの方言で展開される芝居を、地元で鑑賞することができる機会が数多く提供されることを期待する。

筆者近況	
大学教員としては、会計学・経営分析論・会計論などを教えている。八戸市中央卸売市場運営協議会長など、行政関連の各種委員会の委員なども務めている。商店街関係者、八戸高専の先生、はっち職員などと、まちづくり団体をつくり、活動している。	

あっちこっちシアターインフォ

文/田中哲(八戸学院大学地域経営学部教授)

ファイト・普通・方言



八戸学院大学演劇部「面接室」

第22回 八戸東高校演劇部自主公演



第1部:オリジナル・コメディ「サンタさんはサンタさん」 第2部:芥川龍之介氏「蜘蛛の糸」を大胆にアレンジした作品「雲の意図」。お楽しみ下さい! 【日時】5月4日(金)13:00開演 【場所】八戸市公会堂文化ホール 【料金】無料【問合せ】八戸東高等学校 ☎0178-43-0262

第5回 八戸市公民館特別企画演劇公演



小惑星「我が内なるレピューター〜前原寅吉の夢」小惑星にMaeharatorakichi(前原寅吉)が命名された。寅吉の生き様に現代の我々が何を思い出せるのか。大いに笑い、泣いていただきたい。【日時】5月25日(金)18:30開演、26日(土)13:30開演 【場所】八戸市公会堂文化ホール 【料金】一般前売2,000円(当日2,500円)、学生前売800円(当日1,000円) 【問合せ】アート&コミュニティ ☎0178-43-9154

第46回 八戸北高等学校演劇部自主公演

【日時】5月27日(日)13:00開演 【場所】八戸市公会堂文化ホール 【料金】無料 【問合せ】八戸北高等学校 ☎0178-33-0810

演劇空間 **スペースベン**

～演劇好きのための、演劇の場～

※特別番組以外 金曜日は19時30分～、土曜日は14時～、料金は一般前売400円/大学生以下100円(当日100円増)  
※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい  
八戸市柏崎1-11-8 TEL:0178-43-9876 FAX:050-3588-8350  
携帯:080-6025-0990 E-MAIL:owner@spaceben.com URL:http://spaceben.com/



**FANS** FRIDAY AMUSEMENT NEGATIVE SHOP

【FANS予定】第1265～1268回  
ユニット「あだけん」によるマンズリー公演 賢治の夜「銀座鉄道の夜」注文の多い夜ほか。作・演出/あだけん 出演/加藤健太郎・安達良春(一人芝居の回もあり)  
多目的スペース「SpaceBEN」にて、毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。

— 一般前売400円/大学生以下100円(当日それぞれ100円増し) —  
公演情報配信ご希望の方は、owner@spaceben.com宛にメールをお送りください。